

# ワクワク読書三昧 vol.9

旬のオモシロイ×ためになる本のご紹介、第9弾。通勤途中や、家事の合間にお楽しみください。

## レシピ本大賞2018料理部門入賞受賞！テレビで話題「伝説の家政婦」志麻さんの簡単贅沢レシピ！

### プロとして、一品一品、丁寧に

私は各ご家庭の台所に向いて料理を作っています。滞在時間はかたづけまで含めて3時間。冷蔵庫にその日ある食材で1週間分の作りおきをします。「品数がほしい」という方には15品以上作りますし、「品数は少なくてもいいので、より本格的な料理が食べたい」という方にはそうします。いずれにしても、私が大切にしていることは、たとえ限られた時間と食材であっても、一品一品、丁寧に作ることです。

私は、日本とフランスの調理師専門学校に通い、フランスの三つ星レストランで修行した後、東京の有名フランス料理店で15年働きました。しかし、華やかな調理場に立つうちに、次第に「本当に作りたい料理は別にあるのかもしれない」という思いが頭をもたげてきたのです。それは「家庭料理」でした。(中略)

私は日本にもフランスにも、家庭料理には同じようなシンプルな豊かさを感じています。フランスのお母さんたちが毎日作るような素材で温かい料理や、祖母や母が作ってくれた懐かしい料理を作りたい。ですから、さまざまなご家庭でフランス家庭料理から和洋中、エスニック料理まで、幅広く作れるこの仕事にやりがいを感じています。

この本では、家庭構成の異なる5軒のご家庭で、私の3時間の料理風景を詳しく紹介しました。作りおきがメインになっていますが、献立作りのアイデアや、おいしく作るコツを、できるだけわかりやすくお話ししたつもりです。たくさん食材がなくても、珍しい調味料がなくても、手早くできる贅沢なレシピを、家庭でご堪能いただけたらと思います。「作る時間より食べる時間を大切に」これもフランス人に教わったこ

とです。でも、働くお母さんやお父さんたちはそうしなくてもなかなか時間がないもの。この本が、今夜の献立に迷わなくなったり、段取り上手になって料理の手間が減ったりするお役に立ち、食卓でおしゃべりを楽しむ時間が少しでも増えたらうれしいです。家族みんなでささやかでも豊かな食卓を開けますように。温かい時間を持てますように。それが、私の願いです。 —2017年盛夏 志麻

「はじめに」より(一部省略・行替え等変更)



NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」に出演した「伝説の家政婦」志麻さんの処女作！いつもの冷蔵庫の食材が簡単贅沢レシピに変身！じゃがいもがビュレに、にんじんがキャロット・ラベに、鶏肉がタンドリーチキンに、卵がゆで卵とほうれん草のグラタンに、トマト缶がラタトゥイユに！フランス家庭料理から和洋中まで秘伝レシピを初公開。著者の「献立力」や「段取り力」の秘密を惜しみなく紹介する一冊です。

「志麻さんのプレミアムな作りおき」志麻/著 出版社/ダイヤモンド社 定価/1,300円(税別)

「ワクワク読書三昧 vol.9」に掲載いたしました本を抽選で各1名様にプレゼントいたします。応募方法はおハガキにお名前・ご住所・電話番号・希望の本の名前を記載の上、右記の住所までお送り下さい。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募先：〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16 2F 株式会社フォトサービス「ワクワク読書三昧」係宛

## 懐かしのムードコーラス

今では懐かしいムード歌謡の中でも、男性コーラスグループを主体にした「ムードコーラス」に焦点をあて、元マヒナスターズのボーカルから芸人へと転身したタブレット純さんにその魅力をご紹介します。

## 第四回「内田山洋とクールファイブ」の巻



世の女性たちの心をとらえ打ち震わせていたように思えるのですが、クールファイブはやや乱暴なくらいの破壊力、粘着性をもって心を驚嘆みにするような新たな魅力に溢れていました。それはやはりリードボーカルである前川清の歌唱力、存在感に尽きるといっても過言ではありません。前川清さんは元々流行歌にはほとんど興味がなく、高校球児として日夜白球を追いかける傍ら音楽はひたすらプレスリーに憧れる青年であったと聞きます。そう、ムード歌謡の世界にも無骨なロックンロールの波が押し寄せたのです。ぼくが当時観た「三大ムードコーラス夢の競演」といった番組(今となっては不思議なプログラム!)で司会の玉置宏さんはいみじくも「ハワイアンのマヒナ、ラテンのロマンチカ、R&Bのクールファイブ」とそれぞれのルーツなり個性を表現されていました。横浜と同じく海外の流行、音楽がいち早く流布しやすい港町のバンドはアメリカの匂いを自然に吸収して黒船襲来の如く歌謡界にセンセーショナルを巻き起こしたのです。これによってそもそものムード歌謡のルーツであるハワイアン系のバンドマンたちは次第に仕事にあぐら次々と転職に追い込まれたというエピソードもあるのですが、実はこのクールファイブを育てたディレクターはマヒナの創設メンバーで反旗を翻し脱退した山田鏡生氏だったのは何とも皮肉なものです。まさにムード歌謡戦国時代突入!前川清さんが脱退するまでのクールファイブの数々のヒット曲、輝かしい活躍はご記憶の方も多い

と思いますが、最後に明記しておきたいことをひとつ。「あの前川清の後ろでワワーしてる人達、あれって必要?」テレビ画面を見ながらそう感じた方も少なくないかもしれません。自分もそうでした…。しかし!あれは世を忍ぶ仮の姿か、クールファイブは優れたバンドであったことをライブ盤などでは余すところなく教えてくれます。ロックバンドと表現して過言でない「グループ」をムード歌謡に持ち込んだクールファイブ出現の70年代から大衆音楽そのものがいよいよ多様化してくるよう思えます。

タブレット純 (たぶれつとじゆん) 27才の時、ある日突然ムード歌謡の老舗グループ、和田弘とマヒナスターズに異名「田嶋純」としてボーカルで加入。以後2年間和田弘氏並去まで同グループにて活動した。その後ソロとなり、都内のライブハウスにてネオ昭和歌謡、サブカル系のイベント出演の他、寄席・お笑いライブにも進出。ムード歌謡魂という新ジャンルを確立し活躍している。昨年10月22日に自身初の書き下ろし本「タブレット純のエレジー〜エナジー歌謡曲〜輝く歌こそ、生きる力〜」を出版。

「懐かしのムードコーラス」でご紹介したグループのCDを1名様にプレゼント致します。応募方法はおハガキにお名前・ご住所・電話番号を記載の上、下記の住所までお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。応募先：〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-3-16-2F 株式会社フォトサービス「懐かしのムードコーラス」係宛

# あなたの街のセレモニーホール

もしもの時でも安心365日・24時間対応 事前相談・生前予約も承ります。お気軽にご相談下さい。



シティホールグループでは地域の方々からのご意見を頂いて、より葬祭セレモニー会館としてわかりやすくさせて頂くために「あんしん祭典」という名称を追加させて頂く運びとなりました。会館をご利用いただくお客様に、また会館にお参りに来ていただく方々に、今まで以上に一層、「安心」と「満足」をしていただけるサービスを提供させていただきます。今後とも友の会「あんしん祭典」をよろしくお願いたします。

Table listing various City Hall locations across Tokyo and Saitama, including names like 豊玉ホール, シティホール豊玉中央, and contact information for each.

Map of Japan highlighting the regions of 長野地区 (Nagano), 山梨地区 (Yamanashi), and 茨城地区 (Ibaraki). It lists local funeral home branches and contact numbers for each region.